

シラカンバの成長を観察しよう！



シラカンバの熟した果序・果実
9月になると果実が熟して下に向かって垂れ下がる。種子散布も風に頼っている。



シラカンバの種子
種に「翼」がついていて風で飛ぶ。



シラカンバの子葉(下左右2枚)と第1本葉(上)



シラカンバの幼木

成長は早く、3年目には人の背丈を越すことがある。葉は広卵形で先端は尖り、基部は心形。葉縁は大小の波のような鋸歯がある。側脈は5～8本。山地でこの仲間の幼木を見たら、この側脈がないのがシラカンバ。

ダケカンバは側脈が9～14本ほどあるので区別できる。

低地でもよく育つが、大きくなるとカミキリムシ等の材に入る昆虫などの被害を受けやすく、長く生きるのは難しい。